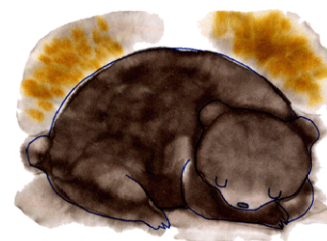




先月、正月三箇日以降ほとんど雪が降らず、月末にかけて物凄い寒波に襲われ、大変「難儀」をさせられました。今月はどうなるのでしょうか？「立春」を迎え、確実に「春」は近付いております。あと二月くらいで雪との格闘も終わり、徒労から解放されますね。今年春から忙しくなりそうで、例年に比べると前半は比較的先行きの明るい年になりそう。後半はどうなる事やら。

# 瓦版 2月号

発行 (株)カネマタ工務店  
TEL 025-792-2560  
FAX 025-792-7102  
http://kanematak.com



## カキのみぞれ鍋

【材 料】	カキ(むき身)	400g	A塩	小さじ1/2
	餅巾着	8個	A水	600ml
	白菜	1/8個	A酒	大さじ2
	にんじん	1/2本	A薄口醤油・みりん	大さじ1
	せり	1束	A本だし	大さじ1
	しいたけ	4枚	サラダ油	大さじ1
	大根おろし	2カップ	片栗粉・ゆず皮(せん切)	適量



寒い今の季節は暖かい「鍋」が一番！

【作り方】 ※材料の分量:4人分 エネルギー:269kcal 塩分:3.5g 野菜摂取量:169g / 1人分

- 1.) カキは塩をふってサッと水洗いする。白菜は3cm幅のそぎ切りに、にんじんはピーラーでリボン状に削る。
- 2.) せりは4cm長さに切り、しいたけは石附を取りカサの表面に飾り切りをする。大根おろしは水気を軽くしぼる。
- 3.) カキの水気を拭き取り片栗粉をまぶす。フライパンに油を熱しカキを入れ、強火で「ぷくっ」となるまで両面を焼く。
- 4.) 鍋にAを入れて火にかけ、煮立ったら白菜・にんじん・しいたけ・餅巾着を加え、フタをして5~6分煮る。
- 5.) 3.)のカキ、2.)の大根おろし、1.)のせりを加えてひと煮立ちさせ、ゆずの皮を散らす。

## 「節分」・なんで豆をまくの？

「豆まき」は古代中国から伝来した「追儺」という行事に由来しますが、なんで豆をまくのか？なんで大豆なのか？その辺を調べてみました。

中世の陰陽道では「年越し」に当たる「節分」の夜は、1年の中で陰から陽へと秩序が最も変わる日とされ、普段姿を隠している鬼や邪気が現れ易いと考えられていました。これを払う宮中行事の「追儺」が、次第に広範囲にまけ、生命力を意味する豆に取って代り、社寺では「豆うち」が行われるようになり、これが庶民に広まり「豆まき」として親しまれるようになったようです。

では、なんで「大豆」なのか？大豆は五穀の一つで穀霊が宿るとされ、米に次いで神事に用いられてきました。米より粒が大きく、穀霊が邪気を払うのに最適であることや、魔の目(魔目=まめ)に豆をぶつけて魔を滅する(魔滅=まめ)にも通じます。

ただし、「豆まき」に用いるのは炒り豆でなくてはなりません。生の豆を使って拾い忘れた物から芽が出てしまうと縁起が悪いとされ、「炒る」が「射る」にも通じます。つまり、「魔目」を「射る」ことで「魔滅」となるわけですね。



## 「魚沼の自然」シリーズ

以前、魚や動物、植物などご当地で観られる生物の現在の記事にしましたが、また新しい事情があるのではないかと再スタートします。

初回は魚沼市の「市の花」でもある「カタクリ」。雪消えと同時に至る所で観られるお馴染みの「山野草」。この花を観掛けると本当に春らしさを感じます。

この植物は北東アジア(朝鮮半島・千島列島・サハリン・ロシア沿海州)と日本に分布し、日本では北海道・本州・四国・九州に分布します。九州では熊本県にのみみられ、日本の南限になっています。

成長過程は発芽1年目は細い糸状の葉だけ、2年目から7・8年目までは卵状楕円形の1枚の葉だけで過ごし、鱗茎が大きくなると2枚目の葉が出て花を付けます。開花初期は結実がある有性生殖と、結実のない無性生殖を繰り返して個体が大きく成長すると複数年に渡り開花が継続します。この植物の平均寿命は40~50年程と推定されています。長生きなんですね。

カタクリは両性火花で、自家受粉による種子の形成はほとんど行われない。もっぱらハチやチョウを花色と密で誘い受粉しているようです。また、種子に付着しているエライオソームと言う物質には脂肪酸・高級炭水化物が多く含まれる。アリがこの成分に誘発され、種子はアリの巣のある遠くまで運ばれます。

花の色は薄紫から桃色で、花被片と雄蕊が6個、雌蕊は長短3本ずつあり、葯(ヤク 雄蕊の先にあるもの)は暗紫色。まれに花被片が白色の個体もみられます。写真は数年前、近隣の山で私が撮影したものです。



## ご来場ありがとうございました。

先月の21日(日曜日)に開催しました「Y・O様邸」の完成見学会。一月とは言え天候にも恵まれて、大盛況のうちを終えることが出来ました。御来場くださいました皆様に感謝を申し上げますとともに、自ら「案内役」を務めていただいたお施主様にも心より「感謝」を申し上げます。当日は立ちっぱなしでさぞお疲れになったと思います。

一日のみの開催でしたが地区の方、お施主様の知り合いの方を含めおよそ60組以上の来場者数を記録しました。特に「好評」でしたのが、水廻りの工夫による家事動線の合理性、随所に配置された収納の多さ。など、主婦目線で考えられた細かな気配りに皆様驚かされていました。細かい分設計通りに造るのは大変手間が掛るのですが、弊社の職人衆は熟知していますので、「お施主様のため」を思い黙々と作業を進めます。

よく言えば、新年を新居で迎えられる「最高」でしたが、断熱の施工が難しかったのと、早めに降った雪のために当初の予定より一月余り遅れてしまいました。なんとか先月末に引っ越しも済み、今は新居で新しい生活をはじめられています。 ※弊社をご用命くださいましたことに改めて「感謝」を申し上げます。



2月 40日 2018年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	1	2	3
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	先負	仏滅	大安	赤口	先勝	友引	先負	仏滅	大安	赤口	先勝	友引	先負	仏滅	大安	先勝	友引	先負	仏滅	大安	赤口	先勝	友引	先負	仏滅	大安	赤口	先勝	友引	先負	仏滅
	地鎮祭吉日		地鎮祭上棟吉日		地鎮祭上棟吉日	地鎮祭上棟吉日	上棟吉日		上棟吉日		地鎮祭吉日	三隣亡	地鎮祭吉日		地鎮祭上棟吉日	地鎮祭上棟吉日	地鎮祭上棟吉日	上棟吉日		地鎮祭上棟吉日	地鎮祭上棟吉日	地鎮祭上棟吉日	三隣亡		地鎮祭吉日		地鎮祭上棟吉日	地鎮祭上棟吉日	地鎮祭吉日	地鎮祭吉日	